

2024年12月期 決算説明会資料

2025年2月12日

株式会社ナカニシ

免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承ください。

主な変更点

2023年8月に買収した米国DCI社事業を新セグメントとして独立表示

旧セグメント

歯科事業

Dental Business

外科事業

Surgical Business

機工事業

Industrial Business

新セグメント（FY2024 Q1～）

歯科事業

Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・訪問歯科治療・インプラント治療など、広範な歯科治療をカバーする歯科用機器の開発・製造・販売

新設

DCI事業

DCI Business

2023年8月に買収した米国DCI社の業績を独立表示。主に米国市場で展開するデンタルチェア・デンタルパーツの開発・製造・販売

外科事業

Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科などの分野で使用される骨切削ドリルの開発・製造・販売

機工事業

Industrial Business

自動車・航空機・精密機器など幅広い産業分野の超微細・精密加工工程で使用されるモータ・スピンドル等の開発・製造・販売

歯科事業

Dental Business



歯科用ハンドピース



インプラントモーター



超音波スケーラー

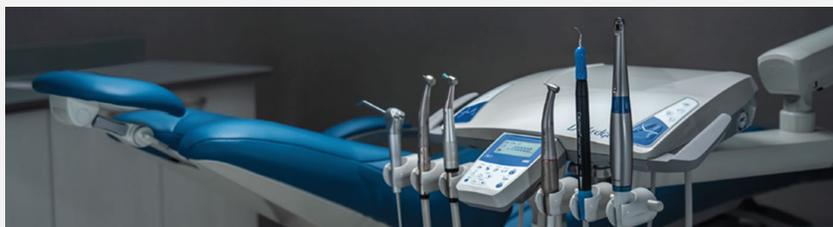


歯科用マイクロモーター

新設

DCI事業

DCI Business



デンタルチェア



デンタルキャビネット



デンタルパーツ

外科事業

Surgical Business



コンソール



サージカルモーター



アタッチメント



ティスポーザブル(バー)

機工事業

Industrial Business



コントローラー&スピンドル



スピンドル



電動ハンドグラインダー



超音波カッター

2024年12月期 連結決算概要

執行役員CFO 鈴木 大介

機工事業は低調だったものの、需要弱含みが続く歯科事業が堅調となったほかDCI事業・外科事業が好調に推移。円安も追い風で売上高は過去最高の770億円

買収効果や円安進行によって業績がかさ上げされ、EBITDAは200億円台に到達

市況悪化や競争激化で業績低迷するイエガーを減損処理し、当期純利益23億円減
株主還元は、特別損失を除外した調整後純利益ベースで総還元性向50%超を維持

* イエガー・DCI・リファインのPPA完了に伴い、2023年12月期の業績値を遡及修正しています

* リファイン買収当時に対象外とした関連会社をFY2024Q4に追加取得。のれん償却に変動あり

百万円

		当期実績 2024/12	前期実績 2023/12	増減率	業績予想 8/9 上方修正	増減率	
売上高		77,041	59,692	+29.1%	75,208	+2.4%	
売上総利益		44,418	36,092	+23.1%	43,669	+1.7%	
	利益率	57.7%	60.5%	—	58.1%	—	
EBITDA *		20,460	17,743	+15.3%	19,013	+7.6%	
	マージン	26.6%	29.7%	—	25.3%	—	
営業利益		14,596	14,251	+2.4%	13,427	+8.7%	
	利益率	18.9%	23.9%	—	17.9%	—	
経常利益		17,283	17,193	+0.5%	14,635	+18.1%	
	利益率	22.4%	28.8%	—	19.5%	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益		8,577	22,799	-62.4%	9,652	-11.1%	
	利益率	11.1%	38.2%	—	12.8%	—	
E P S	(円)	101.37	267.62	—	113.85	—	
* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額							
為替レート	- 米ドル	(円)	151.44	140.54	+10.90	146.00	+5.44
	- ユーロ	(円)	163.80	152.27	+11.53	159.00	+4.80

▪ 為替影響額：売上高 +4,210百万円（前期比），+2,050百万円（予想レート比）

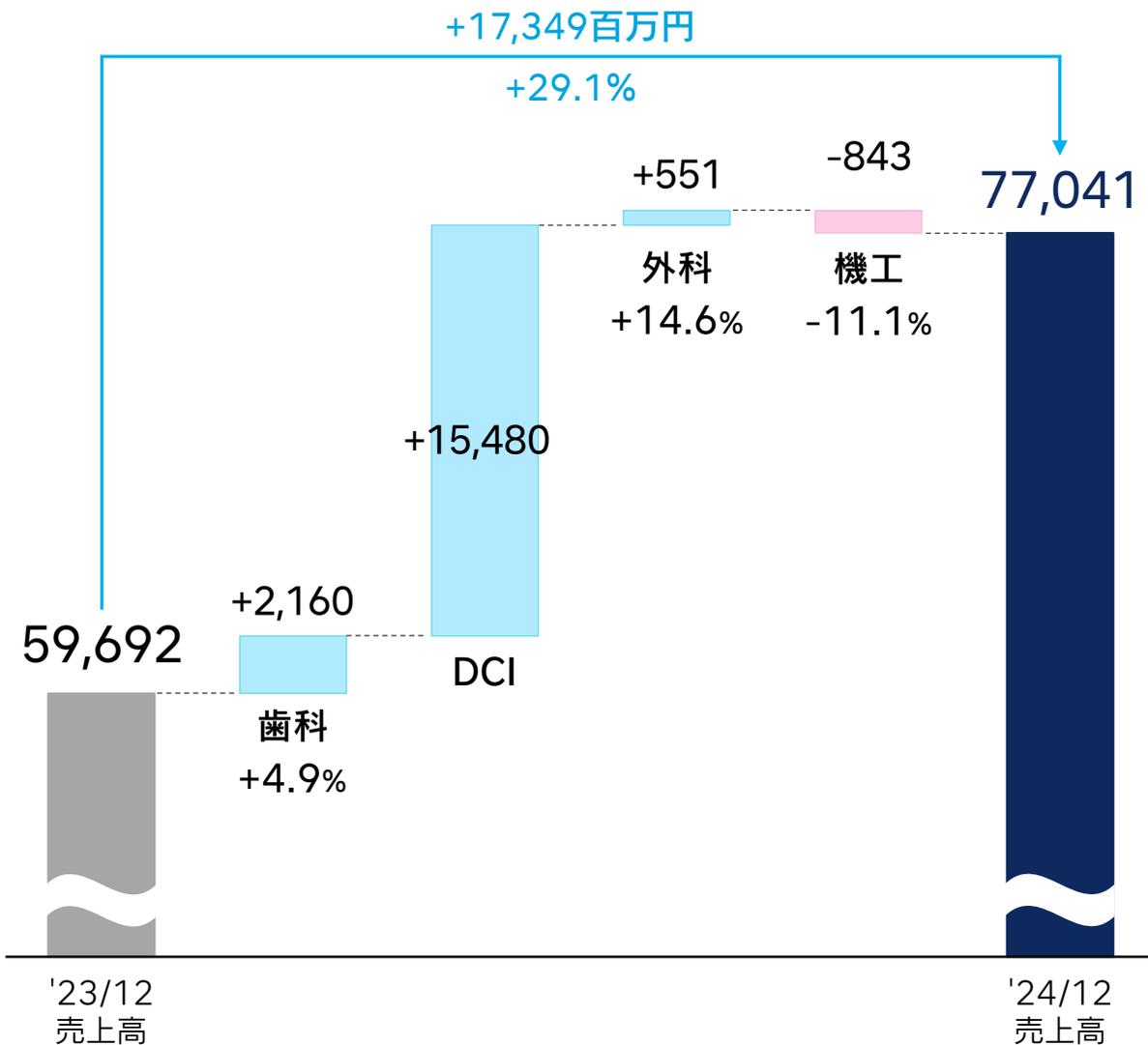
百万円

		当期実績 2024/12	前期実績 2023/12	増減率	業績予想 8/9 上方修正	増減率
売上高		55,789	55,335	+0.8%	55,225	+1.0%
売上総利益		36,456	34,979	+4.2%	35,944	+1.4%
	利益率	65.3%	63.2%	—	65.1%	—
EBITDA *		18,025	17,754	+1.5%	17,105	+5.4%
	マージン	32.3%	32.1%	—	31.0%	—
営業利益		14,876	14,948	-0.5%	14,180	+4.9%
	利益率	26.7%	27.0%	—	25.7%	—
経常利益		17,252	18,082	-4.6%	15,370	+12.2%
	利益率	30.9%	32.7%	—	27.8%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		9,536	12,180	-21.7%	10,633	-10.3%
	利益率	17.1%	22.0%	—	19.3%	—
E P S	(円)	112.70	142.97	—	125.42	—
為替レート	- 米ドル (円)	151.44	140.54	+10.90	146.00	+5.44
	- ユーロ (円)	163.80	152.27	+11.53	159.00	+4.80

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

▪ 為替影響額：売上高 +2,704百万円（前期比）, +1,263百万円（予想レート比）

百万円



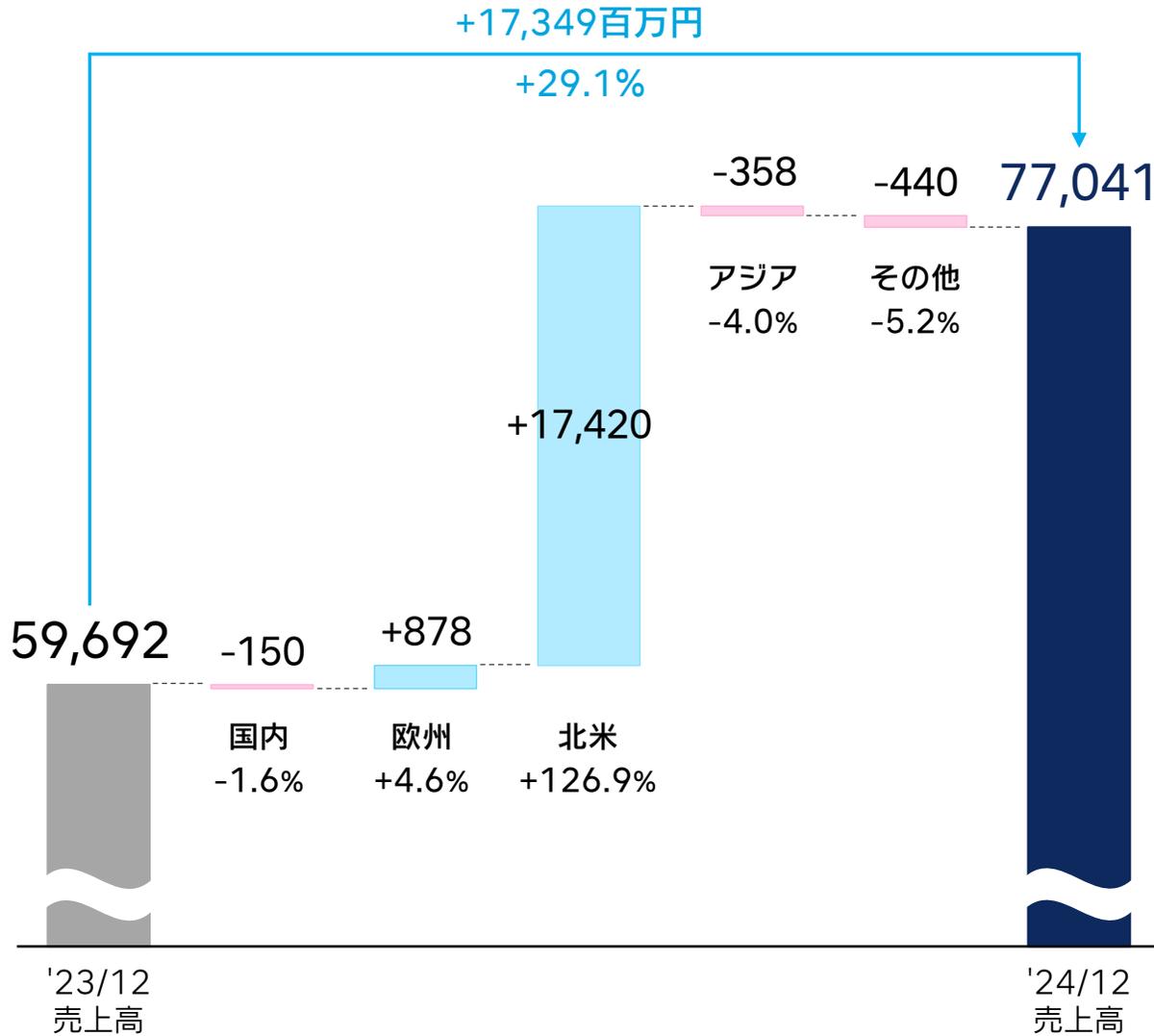
	前期実績 2023/12	当期実績 2024/12	増減
歯科事業	44,366	46,527	+4.9%
DCI事業	3,974 (10-12月)	19,454 (1-12月)	-
外科事業	3,770	4,321	+14.6%
機工事業	7,581	6,738	-11.1%
合計	59,692	77,041	+29.1%

為替影響額 +2,704百万円 (+4.5%)

M&A効果 (DCI・リファイン) +16,895百万円 (+28.3%)

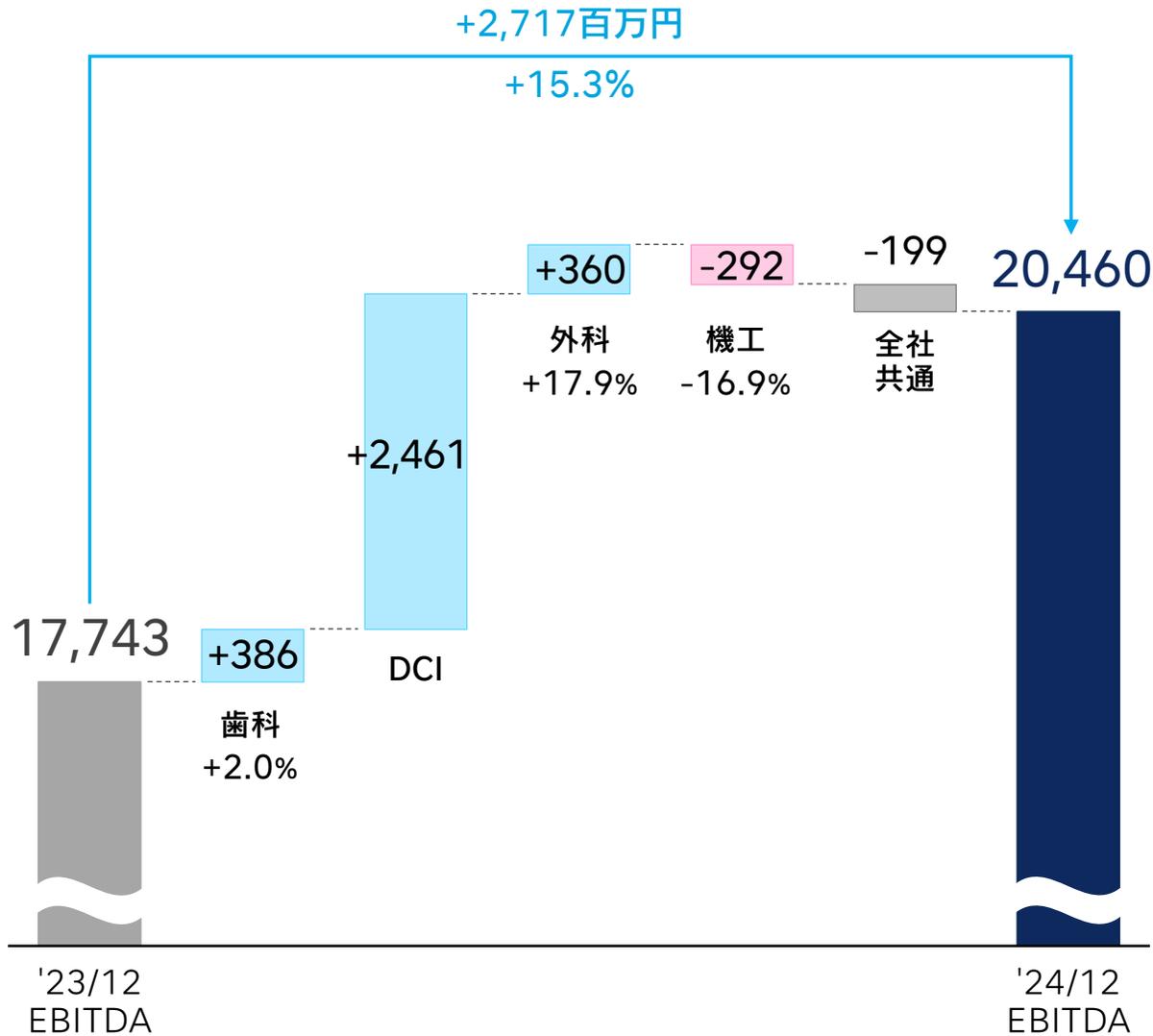
参考: DCI社売上高 (2023年1-12月)(未監査)(1米ドル=151.44円) 17,304百万円

百万円



	前期実績 2023/12	当期実績 2024/12	増減
国内	9,475	9,324	-1.6%
欧州	19,138	20,017	+4.6%
北米	13,724	31,144	+126.9%
アジア	8,860	8,502	-4.0%
その他	8,493	8,052	-5.2%
合計	59,692	77,041	+29.1%
為替影響額		+2,704百万円 (+4.5%)	
M&A効果 (DCI・リファイン)		+16,895百万円 (+28.3%)	

百万円



	前期実績 2023/12	当期実績 2024/12	増減
歯科事業	18,950	19,337	+2.0%
DCI事業	-16 (10-12月)	2,444 (1-12月)	-
外科事業	2,018	2,379	+17.9%
機工事業	1,726	1,434	-16.9%
全社共通	-4,936	-5,135	-
合計	17,743	20,460	+15.3%

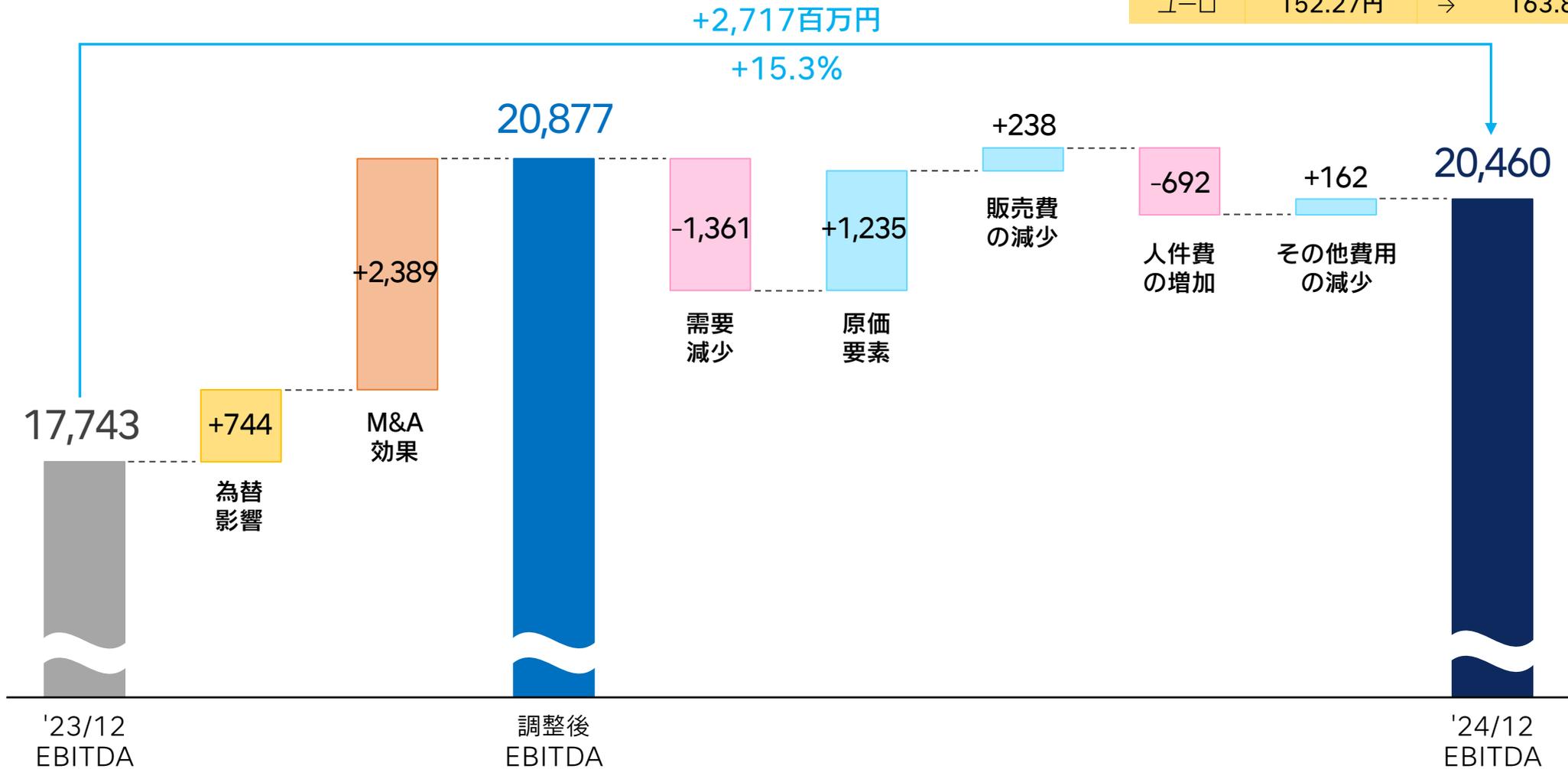
為替影響額 +744百万円 (+4.2%)

M&A効果 (DCI・リファイン) +2,389百万円 (+13.5%)

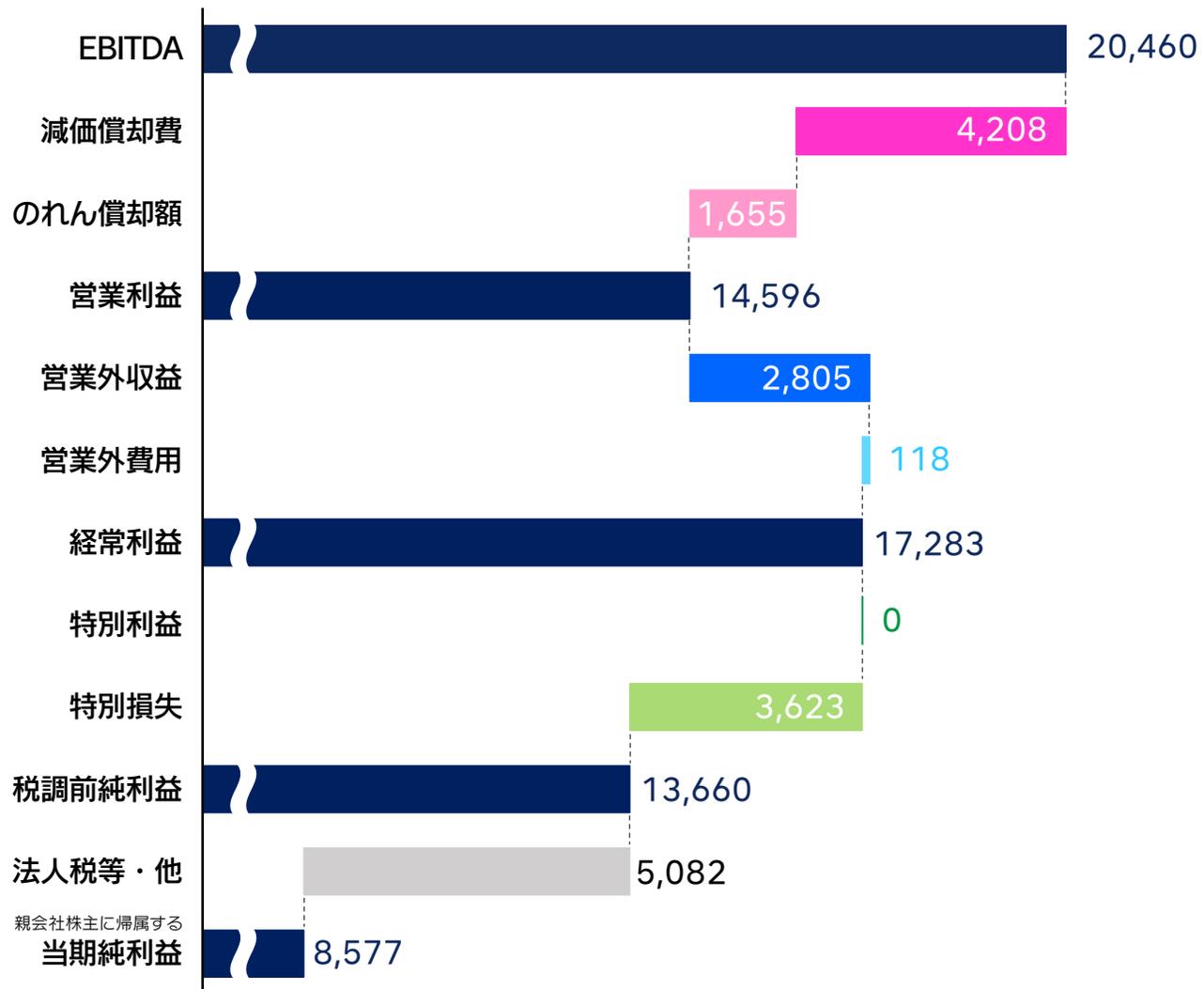
参考: DCI社EBITDA(2023年1-12月)(未監査)(1米ドル=151.44円) 1,062百万円

百万円

平均為替レート		
	2023/12 実績	2024/12 実績
米ドル	140.54円	→ 151.44円
ユーロ	152.27円	→ 163.80円



百万円



営業外収益

・受取利息	989
・為替差益	1,020

営業外費用

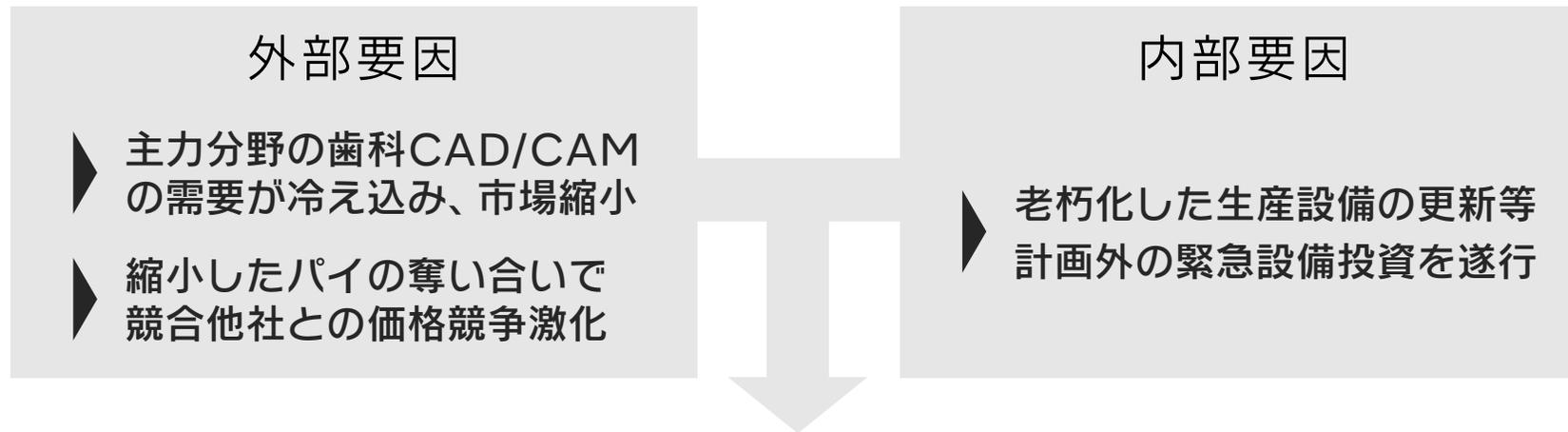
・支払利息	67
・雑損失	48

特別損失

・減損損失	2,924
・関係会社株式評価損	389

2022年12月に子会社化したイエガー社の減損処理を実施

減損処理+税効果 ▲2,333百万円



当初想定した業績計画の達成が困難と判断、FY2024Q4時点で減損処理

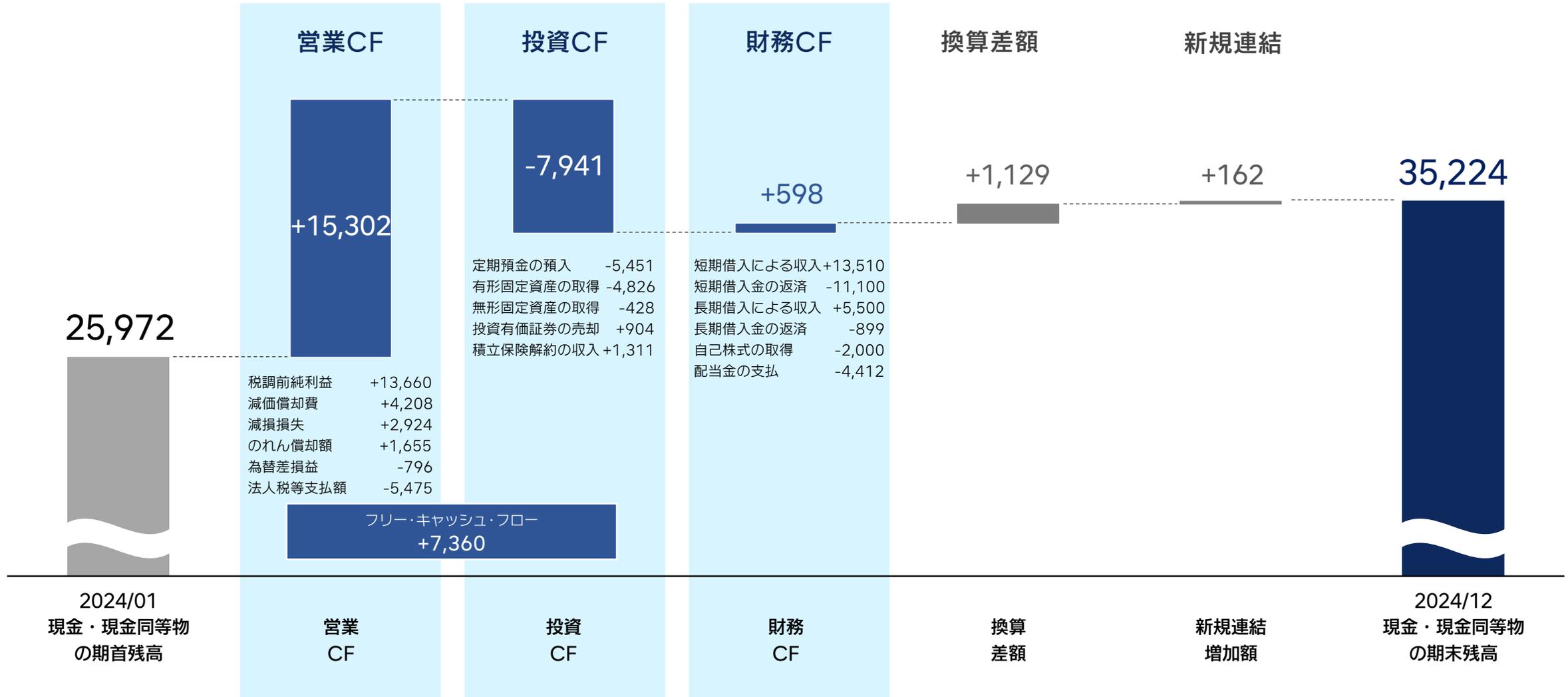
競争力のある新製品の上市・生産性向上を着実に遂行し、成長回帰を図る

連結貸借対照表

百万円

		当期末 2024/12	前期末 2023/12	増減額	主な増減内容
総資産		158,299	140,768	+17,530	・建物及び構築物 +5,392 ・建設仮勘定 -3,038
- 現金及び預金		46,051	31,718	+14,333	
- 棚卸資産		25,024	24,016	+1,008	・商品及び製品 +677 ・仕掛品 -57 ・原材料及び貯蔵品 +387
- のれん		21,389	21,378	+10	
負債		37,100	27,603	+9,496	・買掛金 +494
- 有利子負債		18,728	11,668	+7,060	・短期借入金 +2,443 ・1年内返済長期借入金 +1,820 ・長期借入金 +2,796
純資産		121,199	113,164	+8,034	・為替換算調整勘定 +5,384
- 利益剰余金		116,593	112,310	+4,282	
自己資本当期純利益率	(ROE)	7.3%	22.4%	-15.1pt	
総資産経常利益率	(ROA)	11.6%	14.2%	-2.6pt	
		当期実績 2024/12	前期実績 2023/12	増減額	当期実績の主な内容
設備投資額		5,335	5,984	-648	・M1関連 2,716 ・機械装置 817
減価償却費		4,208	2,956	+1,252	

百万円

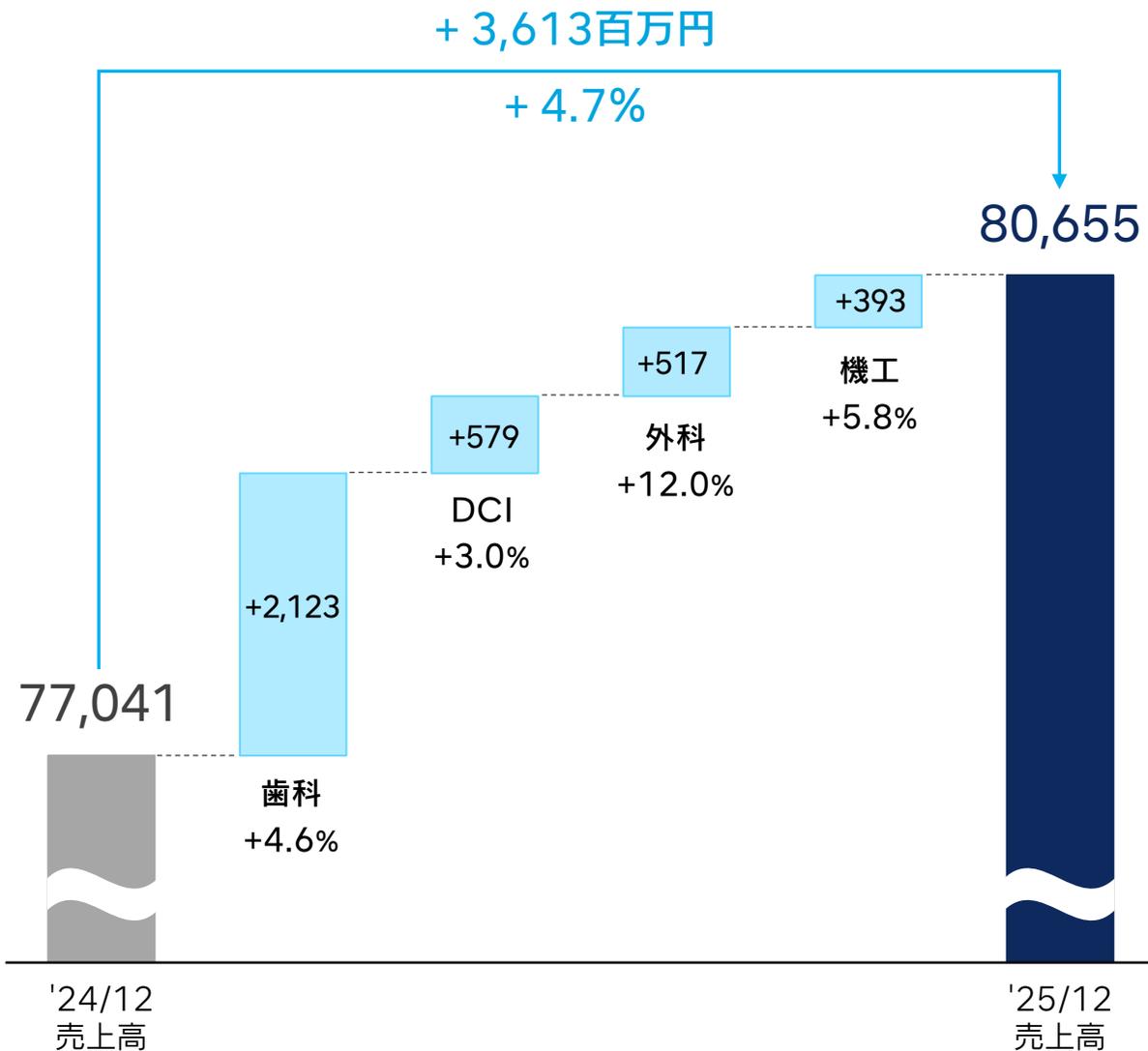


2025年12月期 連結業績予想

百万円

		今期予想 2025/12	当期実績 2024/12	増減額	増減 増減率	説明
売上高		80,655	77,041	+3,613	+4.7%	
売上総利益		44,784	44,418	+366	+0.8%	
	利益率	55.5%	57.7%	-2.1 pt	—	
EBITDA*		18,932	20,460	-1,527	-7.5%	
	マージン	23.5%	26.6%	-3.1 pt	—	
営業利益		13,150	14,596	-1,445	-9.9%	
	利益率	16.3%	18.9%	-2.6 pt	—	
経常利益		13,840	17,283	-3,442	-19.9%	
	利益率	17.2%	22.4%	-5.3pt	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益		9,572	8,577	+994	+11.6%	
	利益率	11.9%	11.1%	+0.7 pt	—	
E P S	(円)	113.34	101.37	—	—	
設備投資額		5,768	5,335	+433	—	
減価償却費		4,365	4,208	+157	—	
為替レート						
- 米ドル	(円)	145.00	151.44	-6.44	—	為替感応度: 年間売上高 242百万円
- ユーロ	(円)	155.00	163.80	-8.80	—	為替感応度: 年間売上高 98百万円

百万円

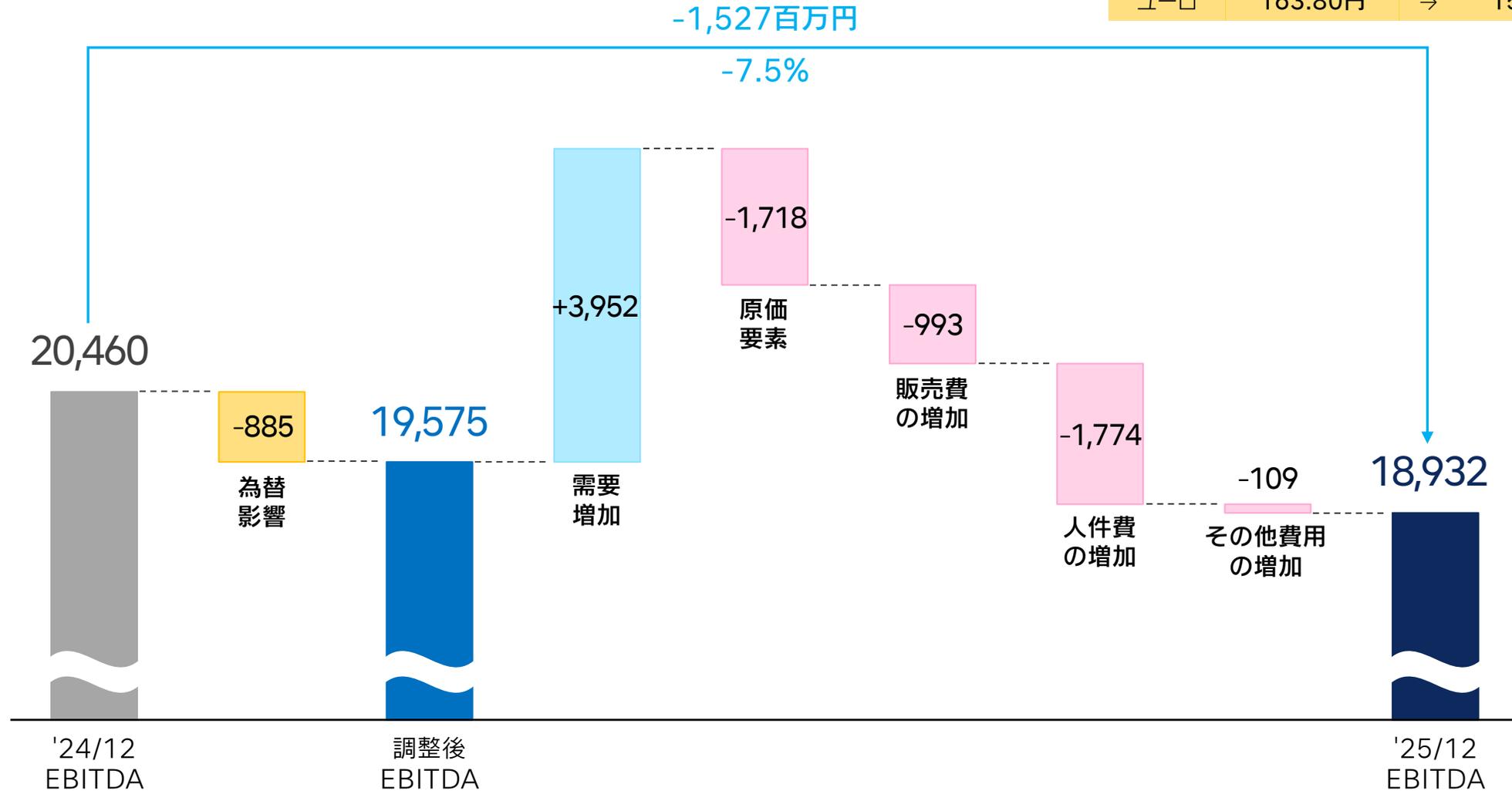


	当期実績 2024/12	今期予想 2025/12	増減
歯科事業	46,527	48,650	+4.6%
DCI事業	19,454	20,034	+3.0%
外科事業	4,321	4,839	+12.0%
機工事業	6,738	7,131	+5.8%
合計	77,041	80,655	+4.7%

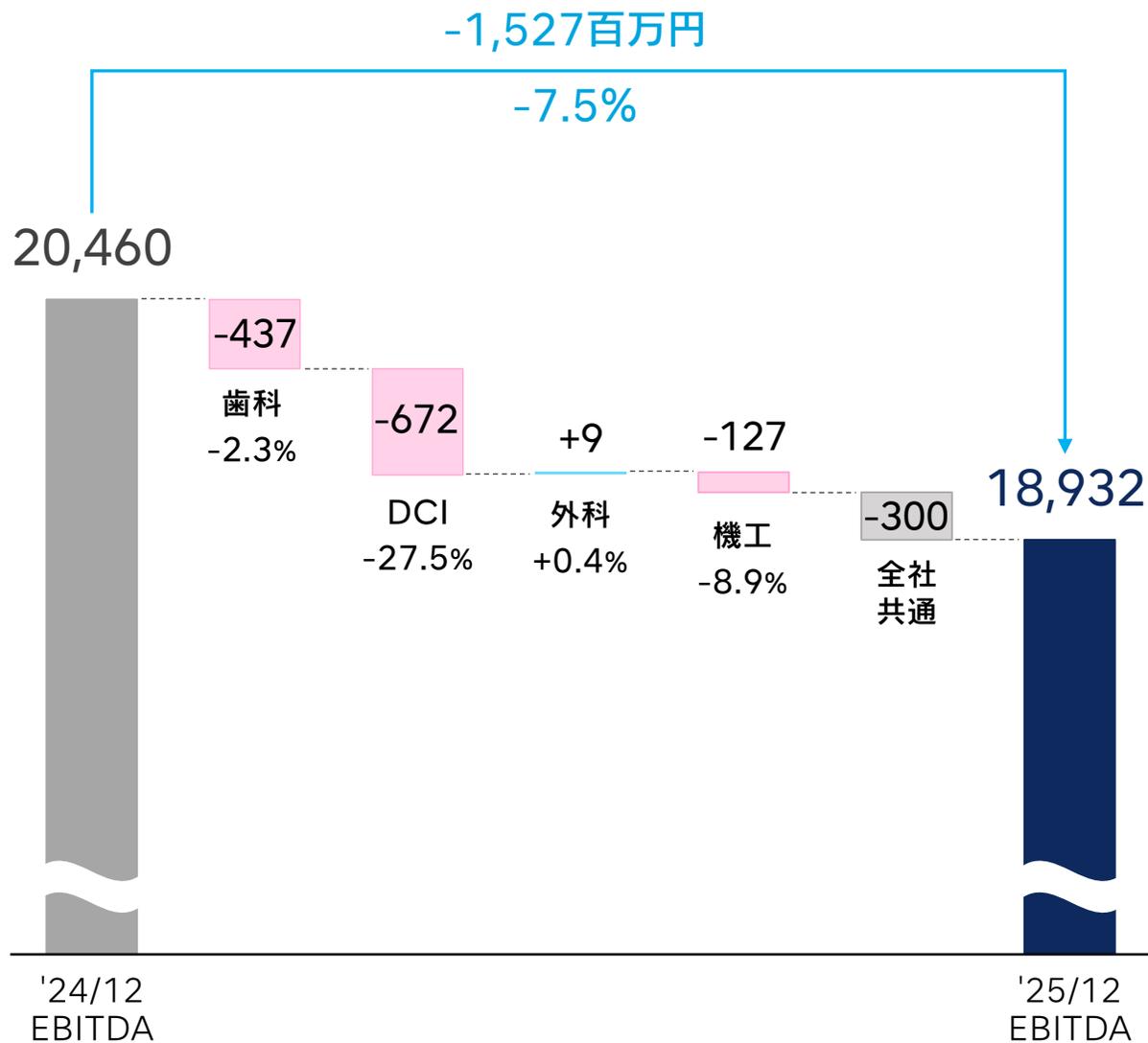
為替影響額 (前期比) -3,241百万円 (-4.2%)

百万円

平均為替レート		
	2024/12 実績	2025/12 予想
米ドル	151.44円	→ 145.00円
ユーロ	163.80円	→ 155.00円



百万円



	当期実績 2024/12	今期予想 2025/12	増減
歯科事業	19,337	18,900	-2.3%
DCI事業	2,444	1,772	-27.5%
外科事業	2,379	2,388	+0.4%
機工事業	1,434	1,306	-8.9%
全社共通	-5,135	-5,436	-
合計	20,460	18,932	-7.5%

為替影響額 (前期比) -885百万円 (-4.3%)

株主還元

DCI社の完全子会社化に伴う特別利益（段階取得に係る差益）およびFY2024Q4に実施した減損処理により、配当金の基準となる当期純利益に“キャッシュ・フローを伴わない”減益要素が発生

[一過性・減益要素]

イエガー社の減損処理
に伴う純利益の減少額

(減損損失+税効果)

2,333百万円

[継続性・減益要素]

DCI段階取得に係る差益
で増加したのれん償却額

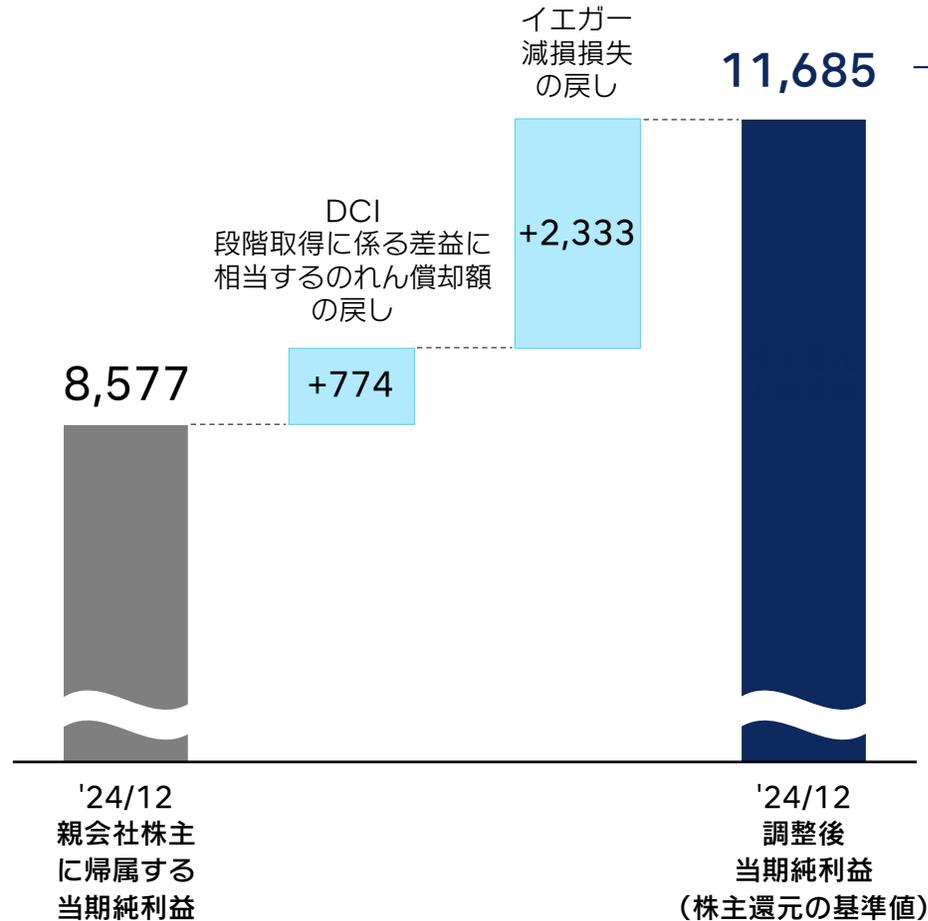
774百万円/年 (米ドル建
2039年迄)

当期および今期以降の配当金予想の算定では上記要素を除外

* DCI社ののれんは米ドル建てのため、為替レートの変動に伴って償却額も増減します

百万円

株主還元基準値の調整



2024年12月期 株主還元

自己株式の取得

2024年3月	取得株数 841,200株	取得総額 1,999百万円
		計 1,999百万円

配当金

中間配当 (実績)	一株当たり 26円 00銭	配当総額 2,195百万円
期末配当 (予想)	一株当たり 26円 00銭	配当総額 2,195百万円
		計 4,391百万円

2024年12月期 株主還元 (予想)

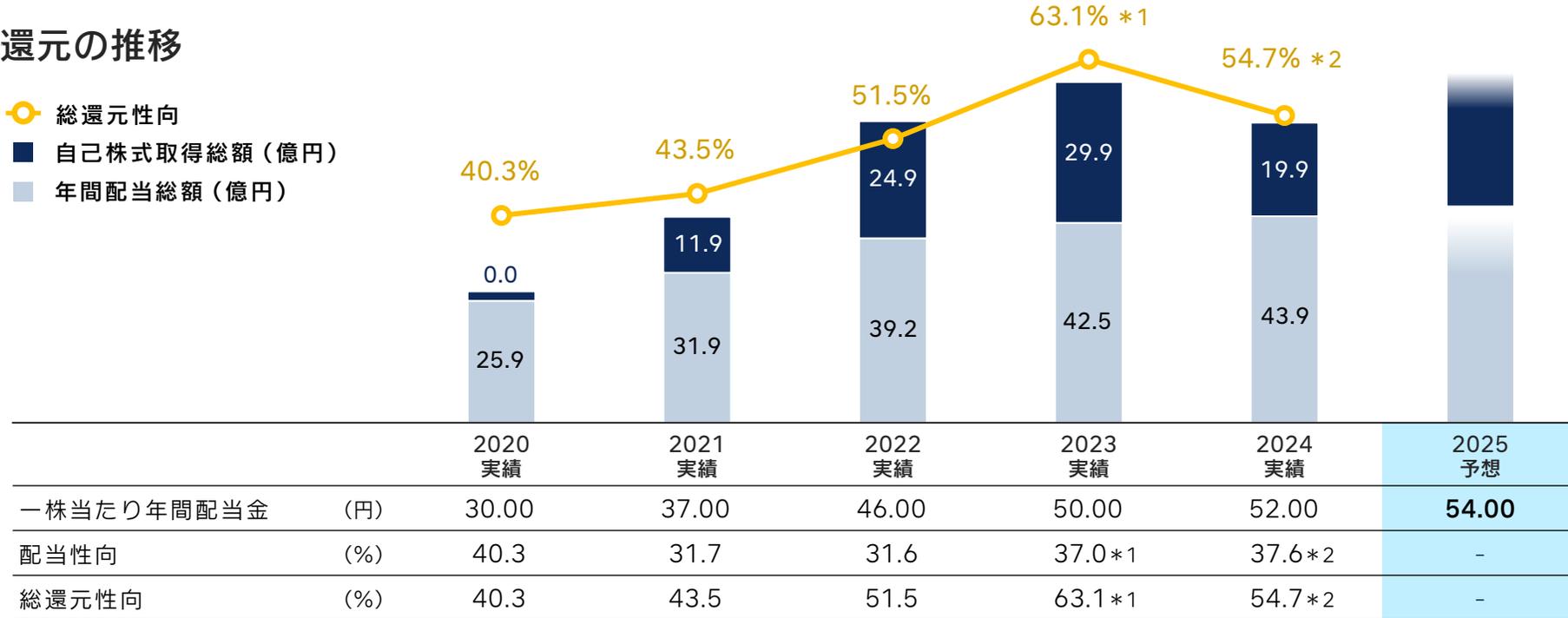
調整後当期純利益ベース	配当性向 37.6%
調整後当期純利益ベース	総還元性向 54.7%

株主還元の方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主還元をバランスよく実施

将来の成長投資に必要となる内部留保を考慮した上で、**中期的な利益還元の基準を総還元性向50%**に設定。**機動的な自社株買いと安定的かつ継続的な増配**に努める

株主還元の推移



一株当たり年間配当金	(円)	30.00	37.00	46.00	50.00	52.00	54.00
配当性向	(%)	40.3	31.7	31.6	37.0*1	37.6*2	-
総還元性向	(%)	40.3	43.5	51.5	63.1*1	54.7*2	-

*1 DCI買収に係る特別利益を除外した調整後純利益を基準として算出
 *2 イエガー減損に伴う利益減等を控除した調整後純利益を基準として算出

中期経営計画の進捗状況

FY2025業績目標値・KPIに対するFY2024実績の到達状況

連結売上高	目標		550億円
	実績	M&Aなし	557億円 
		M&Aあり	770億円 

連結営業利益	目標		165億円
	実績	M&Aなし	148億円
		M&Aあり	145億円

連結営業利益率	目標		30.0 %
	実績	M&Aなし	26.7 %
		M&Aあり	18.9 %

ROE	目標		11.0%超
	実績	M&Aなし	10.1%
		M&Aあり	7.3%

総還元性向	目標		50.0%超
	実績	調整後純利益基準	54.7% 

手元流動性比率	目標		12.0力月未満
	実績		7.3力月 

FY2025キャッシュアロケーション目標に対するFY2024実績の到達状況

キャッシュ-イン

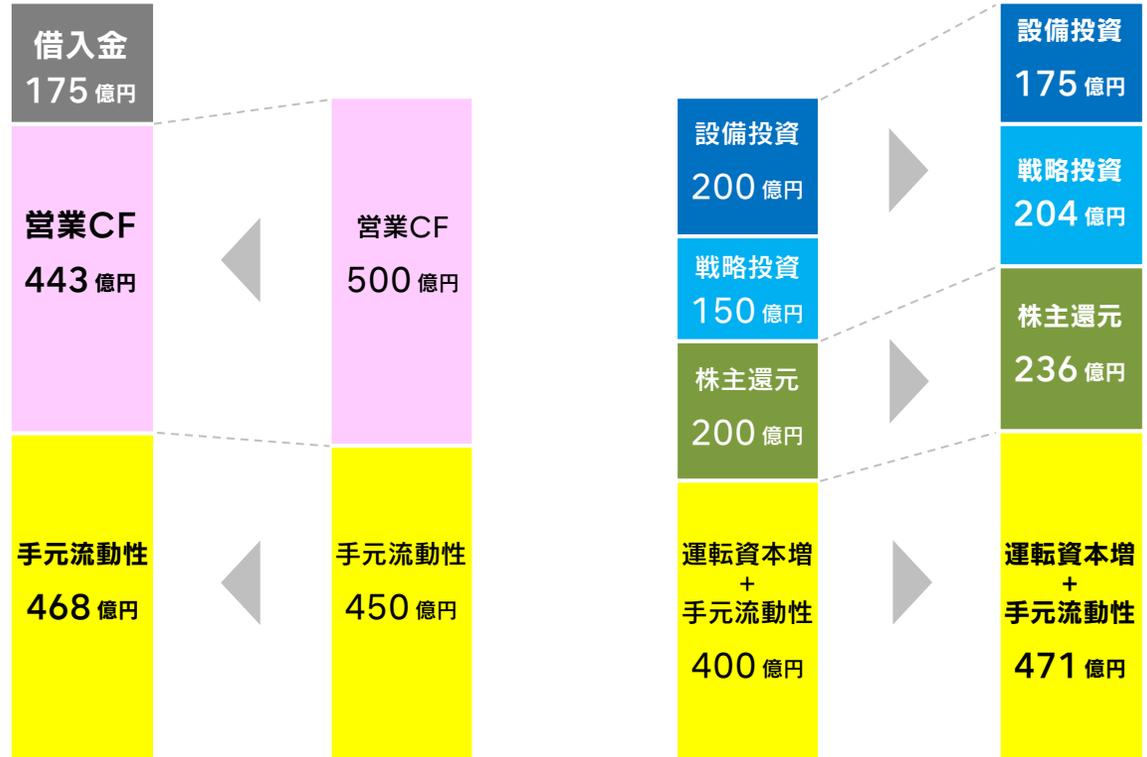
キャッシュ-アウト

実績

目標

目標

実績



営業CF
2021-2024 累計

設備投資

2021-2024 累計



戦略投資

2021-2024 累計



株主還元

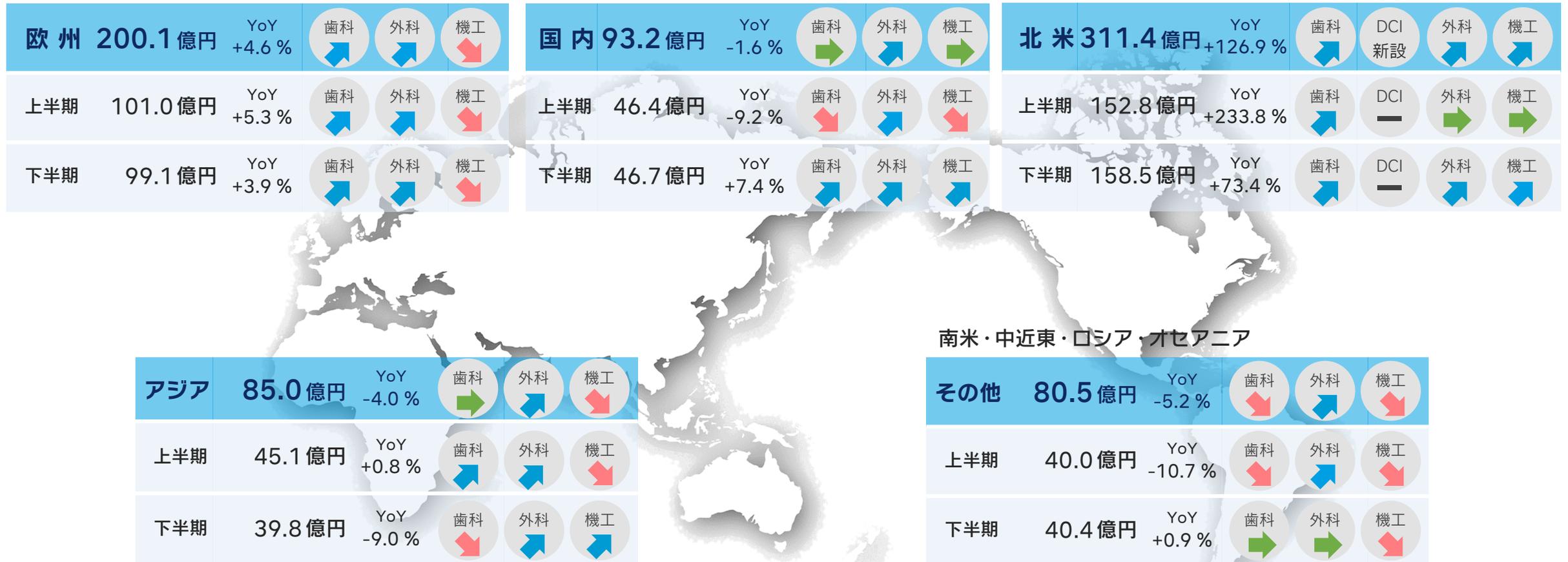
2021-2024 累計



2024事業概況と 2025施策

代表取締役社長執行役員 中西 英一

北米・欧州などの先進国市場での販売は堅調となったが
アジア・南米・ロシアなど新興国市場では軟調となった



2025年 市場動向予測

- 歯科事業：特需後の反動減から脱し、緩やかに回復する見込み
- DCI事業：需要回復の兆しあるが政権交代による不安要素残る
- 外科事業：底堅い手術件数に応じて、需要も堅調となる見込み
- 機工事業：世界需要は依然として弱いものの底打ちの兆しあり

2025年 基本戦略

- ▶ 歯科事業：新製品を軸にして、競争力ある主力商品群を世界で拡販
- ▶ DCI事業：新規ディーラーとの取引拡大、カナダ・DSOへの拡販
- ▶ 外科事業：協業ビジネスの拡充を通じて、さらなる事業成長を図る
- ▶ 機工事業：需要回復を見据え、自動化・省人化提案を積極的に展開

NLZ Pro

2024年11月 北米向けに出荷開始

ビルトインに対応した歯科用デュアルモーターシステム



▶ ビルトイン対応

既存のデンタルチェアにビルトイン可能。DCI
デンタルチェアへの標準装備で商品力向上図る

▶ 2モーターをコントロール

治療に応じて2本のコントラアングルを使い
分けられるようになり、利便性が大幅に向上

▶ カラータッチパネルを採用

カラータッチパネルを採用し、視認性・操作性・
清掃性が向上

VIVAace 2

2025年3月 国内で販売開始予定

国内で需要高い訪問歯科診療ユニットを大幅アップグレード



▶ さらに小型軽量化された高性能モーター

従来比10%小型化し、根管治療にも対応する新機能を持つ高トルクモーターを搭載

▶ 大幅に吸引力がアップしたバキューム

顧客要望の多かった吸引力を従来比約3倍に。静音性も向上

▶ LEDライト付シリンジ

口腔内を照らし視野を確保。訪問先の患者宅等で効果発揮



2024年11月16日～17日 東京デンタルショー

国内

2024年の概況

販売実績
→
YoY

- 需要反動減が続いた自社ブランド販売は下半期に回復し、前期並み
- OEMは前年特需剥落で大幅減収

2025年の施策

販売計画
↗
YoY

- 主力の歯科用ハンドピースのほかセミナー活動と連携してオーラルハイジーン製品を拡販
- OEM販売では取引先拡大を図る



2024年5月16日～18日 Expodental Rimini (イタリア)

欧州

2024年の概況

販売実績
↗
YoY

- 厳しい市況の中、各現地法人の精力的な営業によりシェア拡大
- 大型案件消滅でOEMは大幅減

2025年の施策

販売計画
→
YoY

- 主力製品であるハンドピースやインプラントモーターをはじめオーラルハイジーンの新製品を拡販



2024年11月29日～12月4日 Greater NY (ニューヨーク)

北 米

2024年の概況

販売実績 YoY

- NSKアメリカの営業力の強化で歯科大学・DSOとの取引が拡大
OEM販売も堅調
- DCIとのバンドル販売も順調

2025年の施策

販売計画 YoY

- 競争力のあるハンドピースを軸に自社ブランド拡販、バンドル販売を推進
- OEM販売は反動減を見込む



2024年10月24日～27日 DenTech China (上海)

アジア

2024年の概況

販売実績 YoY

- 中国：景況悪化や腐敗防止政策で大幅減。回復の兆し見えず
リファイン新規連結で増収
- 韓国：自社製品・OEM共に堅調
- 東南アジア：需要弱く、販売減少

2025年の施策

販売計画 YoY

- 厳しい市況が続く中国では回復の兆しが見通せないものの入札案件の着実な獲得を目指す
- 韓国や東南アジアの需要は弱含む想定だが、主力のハンドピースやインプラントモーターを拡販



2025年1月22日～25日 CIOSP 2025 (ブラジル)



2024年3月21日～23日 ADX 2024 (シドニー)

2024年の概況

販売実績
YoY



2025年の施策

販売計画
YoY



中近東

- 地政学リスクで市況悪化。政府系大型入札消失などが響き販売減少

- 地政学リスクで先行き不透明だが政府入札の着実な獲得を目指す

南米

- 在庫調整が続いたほか市況悪化や競争激化により販売減

- 主力のインプラントモーターやハンドピースを拡販

ロシア

- 前年販売増からの反動や在庫調整が続き販売は大幅減

- 先行き不透明ながら引き合いが多いインプラントモーターを拡販

豪州

- 政府系案件や入札案件を着実に獲得し、販売伸長

- 主力のハンドピース拡販とともにオーラルハイジーン製品にも注力



2024年11月29日～12月4日 Greater NY (ニューヨーク)



米国デンタルチェア市場は前年比マイナスとなったが期末に向けて回復傾向が鮮明となった

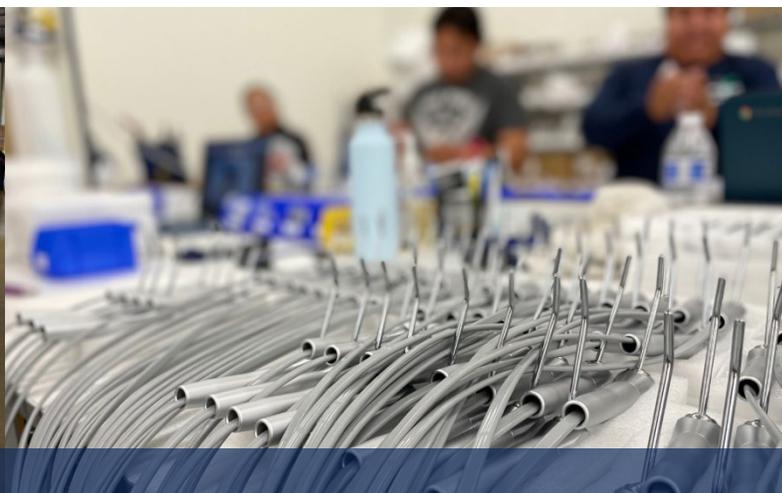
DCIのデンタルチェア販売は順調に回復し、通期(1～12月)の販売台数は前年比プラスに転じた

DCI単体は増収増益で営業黒字

* 米ドルベース・償却前



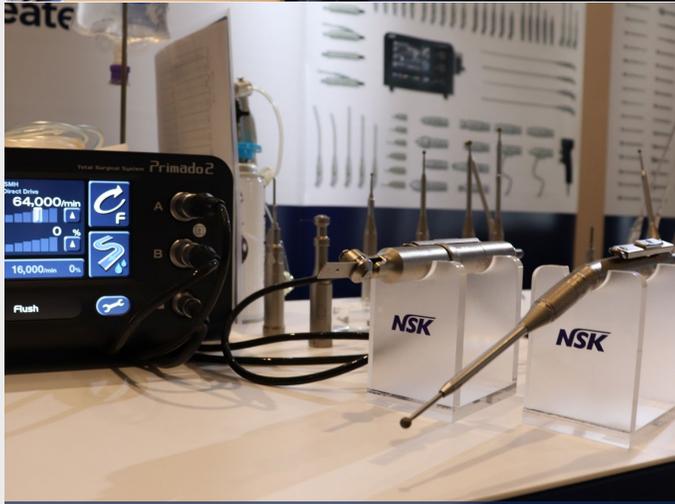
DCI デンタルチェア製造工場 (米国 オレゴン州・ニューバーグ)



米国・デンタルチェア販売台数
2024年1-12月累計 前年比

市場全体： -6%

DCI： +2%



2024年10月11日~12日

学会展示 (宇都宮)

2024年の概況

販売
動向



YoY

2025年の施策

販売
動向



YoY

国内

- 脊椎外科に焦点を当てた営業活動が奏功しユニット・ディスポともに販売伸長

- 体制強化・営業エリア拡大で顧客接点を強化しつつ、ディスポ拡販

欧州

- 需要弱含みが続く中で販売伸長競合撤退商機の取り込みに着手

- 欧州域内の営業体制強化に向け現地法人に欧州外科担当を配置

北米

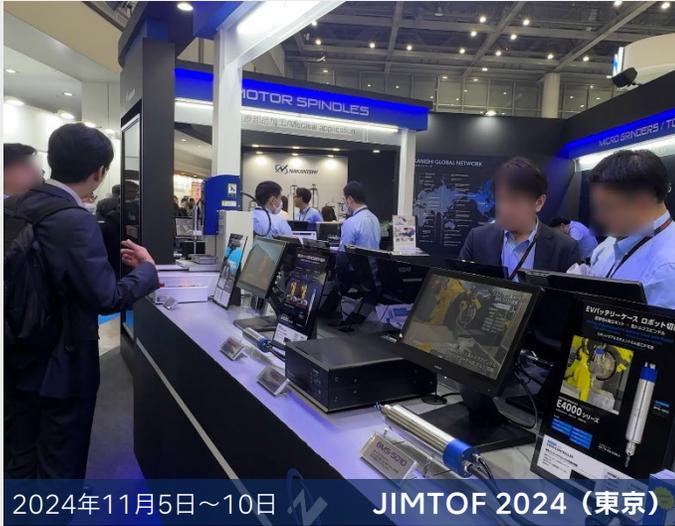
- 協業ビジネスやKOL連携強化等の事業戦略が奏功し、販売伸長

- 手術支援ロボットメーカーと協業拡大、競合撤退の商機の取り込み

アジア

- 主力の中国・韓国では厳しい市況が続いたが製品力をテコに販売増

- 内視鏡等の低侵襲手術に対応したハンドピース新製品を拡販



2024年の概況

販売
動向



YoY

2025年の施策

販売
動向



YoY

国内

- 需要後退局面が続き、大幅減収
下半期に入って需要回復の兆し

- 需要回復を見据えて、引き続き
省力化・省人化提案活動に注力

欧州

- 市場縮小でナカニシ製品は販売減
市況悪化と競合他社の低価格攻勢
でイエガーも大幅減収

- 当面は引き合い案件の着実な取り
込みとイエガー社の再建に注力

北米

- 厳しい市況感が続いたものの提案
営業が奏功し前期並みの売上確保

- 米国では設備投資回復が見込まれ
引き続き提案型営業活動に注力

アジア

- 中国を中心に大幅減収となったが
Q4は前期比増収と底打ちの兆し

- 営業活動を通じて需要回復を探索
しつつ微細加工分野の提案を継続

Appendix

コングロマリット化の志向はゼロ。既存事業の強化が最重要判断基準
現在のフォーカスポイントは「外科事業の拡大」と「コア技術の強化」

1. 既存事業の成長に向けたコア技術・周辺分野の買収
2. リソースを補完し、競合他社に対抗するための買収
3. ナカニシの高い生産技術を活用できる新分野の買収

コア技術 を強化できるか？

削るテクノロジー

1. 超高速回転技術
2. マイクロモーター技術
3. 超音波技術

ビジネス を拡張できるか？

製品ラインアップ

1. 歯科医療用機器
2. 外科医療用機器
3. 産業用スピンドル

イエガー（高周波スピンドル）
リファイン（予防歯科用機器）

販売力 を強化できるか？

販売ネットワーク

1. 販売エリア
2. 販売チャネル
3. 市場プレゼンス

イエガー（販売エリア）
DCI（販売チャネル/市場プレゼンス）

イエガー

2022年12月 買収完了



DCI

2023年8月 買収完了



リファイン

2023年11月 買収完了



会社名	Nakanishi Jaeger GmbH	DCI International, LLC	桂林市銳鋒醫療器械有限公司
創業	1967年	1983年	2017年
所在地	ドイツ ヘッセン州 オーバー=メルレン	米国 オレゴン州 ニューバーグ	中国 広西チワン族自治区 桂林市
代表者	Björn Werner, Managing Director	Darrell McGiverin, CEO	山内 明彦, 董事長
従業員数	約120名	約380名	約160名
事業概要	高性能HF（高周波）スピンドルの開発・製造・販売	デンタルチェア・デンタルパーツの開発・製造・販売	超音波スケーラー等、歯科医療機器の開発・製造・販売
生産拠点	ドイツ	米国	中国
事業セグメント	「機工事業」セグメント	「DCI事業」セグメント	「歯科事業」セグメント

買収3社 PPA完了

イエガー

(2022年12月買収)

買収時点

のれん：21.7百万ユーロ
償却期間：10年想定

FY2024Q4 減損処理
FY2025以降償却なし

DCI

(2023年8月買収)

買収時点

のれん：238百万米ドル
償却期間：10～20年想定

PPA完了 (FY2023 Q4)

	償却 期間	FY2025 期首残高	年間償却費
無形固定資産	15～ 20年	94百万米ドル	6.4百万米ドル
のれん	16年	123百万米ドル	8.4百万米ドル
		計	14.8百万米ドル

リファイン

(2023年11月買収)

買収時点

のれん：100百万人民元
償却期間：10年想定

PPA完了 (FY2024 Q1)

	償却 期間	FY2025 期首残高	年間償却費
無形固定資産	4.5～ 7.25年	23.6百万人民元	5.4百万人民元
のれん	10年	87.2百万人民元	9.9百万人民元
		計	15.3百万人民元

イエガー

買収時想定のスナジー

- ▶ クロスセリングの推進

PMIの進捗状況

- ▶ 老朽化で問題が顕在化していた生産設備の緊急更新を実施済み
- ▶ 製品開発および体制強化は想定以上に時間がかかる見込み

世界的な需要落込みが続いており
ナカニシ・イエガーともに販売減

DCI

買収時想定のスナジー

- ▶ DCI x NSK バンドル販売
- ▶ 営業ネットワークの相互補完

PMIの進捗状況

- ▶ NSKアメリカとDCIの営業部門のレポートラインを統合
- ▶ 初年度のバンドル販売目標達成
- ▶ 全米3大歯科ディーラーの一角パターソンがDCIの取扱開始

デンタルチェア需要は回復基調で
DCIも市場を上回るペースで回復

リファイン

買収時想定のスナジー

- ▶ 中国市場・新興国市場の攻略
- ▶ 電気製品の開発スピードアップ

PMIの進捗状況

- ▶ 新興国を中心に各市場において薬事申請手続き(製品登録)着手
- ▶ ナカニシの販売ネットワークを活用した販路拡大の仕組づくり

中国国内は想定以上に需要減退し
リファインも競合も国内販売鈍化

NSK